

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	有限会社平澤建設					
代表者名	氏名	平澤 里枝		役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	中野市篠井106-2					
主たる事業の分類	大分類	D 建設業				
	中分類	0 6 総合工事業				
主たる事業の概要	一般土木工事を中心とした、舗装・外構・河川・造成から建築工事					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☒	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3. 31	3. 21			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5. 45				
調整後排出量	t-CO ₂	5. 45	4. 63			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	11				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2025	年度	計画期間	2026	年度～	2028	年度
報告対象年度		年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

☐	ホームページ	HPアドレス	
☒	印刷物の閲覧	閲覧可能場所	本社事務所
		可能時間	8:00～17:00
		担当部署	管理部
		連絡先	0269-22-2648
☐	その他		

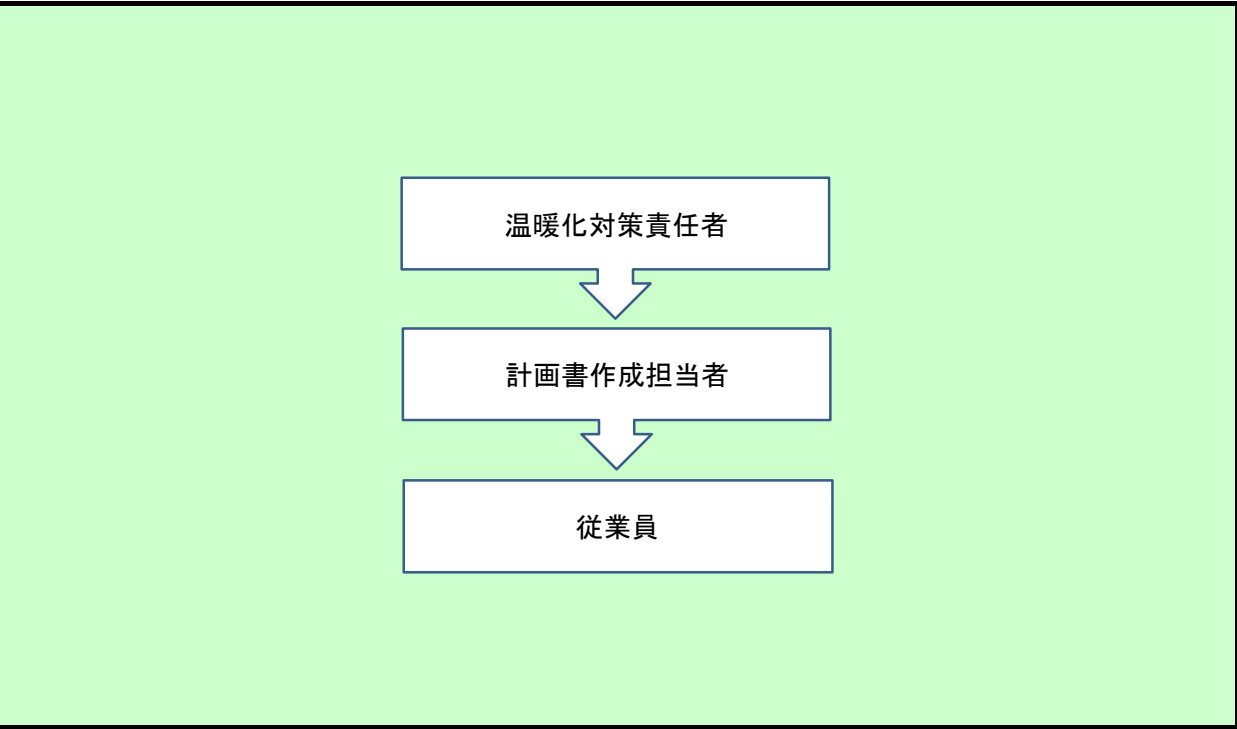
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

当社は、地域社会の「何気ない日常」を支える社会基盤の形成に貢献する企業として、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。
省エネルギーの推進や環境負荷の低減に努めるとともに、業務の効率化や資源の有効活用を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。
また、法令等を遵守しながら継続的な改善を進め、地域のインフラを支える企業として、環境と経済活動の調和を図りながら、脱炭素社会の実現を目指します。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	無	目標年度		年度	削減目標	
削減計画の概要						
イニシアチブ 参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策・省エネ会議
半年に 1 回、取組の進捗状況を共有して確認し、方針の見直しを図る。

6 の 1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5.45	t-CO ₂	従業員数	1.40	単位	十人
2025年度	調整後排出量	5.45	t-CO ₂	基準原単位	3.89	t-CO ₂ /	十人
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	4.63	t-CO ₂	目標原単位	3.31	t-CO ₂ /	十人
2028年度	目標削減率	15.04	%	目標削減率	15.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で15%の削減目標を掲げ、様々な省エネ活動等に社員一丸となって取り組む。本社事務所屋根上に太陽光発電設備を導入し、再エネ割合を増加させる。削減目標に対する不足分については、長野県の森林J-クレジットの活用によるオフセットを検討する。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	従業員数		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2026年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	従業員数		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2027年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	従業員数		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2028年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量等の増減理由							

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2028年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2026年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2027年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2028年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量等の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2025 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2028 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2026 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2027 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2028 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量等の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ～ II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	発電設備	太陽光パネル・蓄電池による再生可能エネルギーの導入	2026～ 2028	3		
2	エネ起	空調機	エアコンの定期的なフィルター清掃や適切な温度設定	2026～ 2028			
3	エネ起	照明設備	節電	2026～ 2028			
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	10	10			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	10	10			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
J-クレジット(県内産に限る)	t-CO ₂ /年	0	1			
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	7	14			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計		5						

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計				

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	3			
合計	3	0	0	0
自動車総数	11			
次世代自動車導入割合	27.3			

様式 1 号
(総括票)

1 4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の 利用促進	公共交通機関の利用を奨励している
自 転 車 の 利 用 促 進	近隣に居住する社員に自転車通勤を奨励している
来客者の交通対策 ／ 社用車等の 移動に伴う取組	車両のアイドリングストップ等のエコドライブを奨励している
電気自動車用充電 設備の設置 ／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	なし

1 5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☐	環境マネジメントシ ステム	環境マネジメントシステムを導入している	
		名称	
☐	ZEB	の認証を取得している	
SDGs		長野県SDGs推進企業登録制度へ登録している	2024

1 6 先進的な取組

スパイラルキーチェーンを使用し「エンジン切らないと離れられない仕組み」を作り、アイドリングストップを徹底している。

1 7 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

当社では、環境負荷低減及び省エネルギー化に向けた取組として、太陽光発電設備及び蓄電池の導入、照明設備のLED化を実施している。また、ハイブリッド車の導入や、排出ガス対策型建設機械の導入を進めるとともに、重機・車両のアイドリング防止を徹底し、燃料使用量削減及び環境負荷低減に努めている。 業務面では、労務・安全衛生書類の電子管理、電子契約、現場勤怠管理アプリ等を活用し、DX化及びペーパーレス化を推進している。社内会議では大型モニターを活用し、紙資料配布の削減を行うとともに、電子帳簿保存にも取り組んでいる。施工面ではICT施工を導入し、作業効率向上に取り組んでいる。 地域貢献活動として、地域内の樹木伐採や道路の簡易補修等にも協力し、地域環境保全及びインフラ維持に貢献している。さらに、災害時に備えた事業継続力強化計画の策定や、働きやすい職場環境づくりにも取り組み、継続的な地域社会への貢献及び持続可能な事業運営を推進している。
--